

令和2年度事業計画書

1.基本方針

当NPOは、6月までが年度期間で今日までできました。しかし、年度途中の令和1年12月末に斯波最誠理事長が急逝されました。7月度から1年間の活動は、意志を引き継いで今まで通り支援の輪を進めてまいります。環境の良い施設で、暖かい対応により、当事者や家族が満足できる活動を進めていきます。

私たちは、会員獲得のため更に呼びかけを行い、地道な広報活動の実施と効果をめざします。そして、今年は4月から子供の居場所事業の開催日が倍増、利用者に貢献すると同時に新しい人数の拡大に努めます。

2.事業活動の計画

1) 具体的な事業

- ①今年度は京都府並びに宇治市の就労支援課、学習支援課とのタイアップにより事業を強化します。
- ②京都府こどもの城づくり事業、子どもの居場所。子ども食堂の支援のタイアップの強化。
- ③ひきこもり女子会の強化のため毎月開催、その女子会から非常に参考になる提言があり、活動に生かしていきます。

2) 寄宿生の増員計画

- ①当NPO会員、知人など独自のルートで当事者・家族に働きかけを行う。
また、京都府健康福祉部の担当者並びに宇治市福祉の支援課との協力を得て、困窮者対象の寄宿を強化します。
- ②全国対象者へのPRは、ホームページの活用を効果的にする。
- ③東京にある全国引きこもり親の会（KHJ）との連携をする。

3) 会員募集の計画

- ①施設・寄宿利用者は、会員になってもらう。
- ②イベント活動を重点施策として、他の関連団体、諸大学との交流を深めながら更に多くの方の賛同が得られるよう会員募集を進めてまいります。
昨年度のイベントの開催の好評もあり、継続会員、新規会員、寄付者の増加もありました。